

第1回新庁舎整備に関するワークショップにおけるご意見

新庁舎周辺地区の位置づけ・役割

- いつでも多様な人が集える場所
- 日常利用と災害対応を備える
- 情報の発信と収集
- 回遊の拠点
- まちに足りない機能を補完

まちなか庁舎の在り方

- 熊本らしさを感じる庁舎
- 安全安心を守る防災拠点
- だれでも日常利用できる場所
- カッコ良い、愛着をもてる庁舎
- 環境への配慮

熊本城地区

新町・古町地区への波及

観光客増加傾向。城彩苑、熊本城の観光需要が高く、熊本城からバスターミナルへの観光客の動線が形成。

業者等の業務での来庁者が多い

学会、シンポジウム、コンサート、イベントなどにより人が集まる、賑わい・交流の場。

区民など、手続き目的の来庁者が多い。

跡地利活用ポテンシャル

中央区は「重視していく動線」に隣接。

市民来街目的は、買い物、エンタメ、外食がTOP3。
出典：熊本市「新庁舎整備を契機としたまちづくりに関する市民アンケート」

電車通りに業務施設が立地し、ビジネスパーソン多数。

2核3モールの2核に公共交通の乗降客数が集中。

- ➡ 主要な回遊軸(モール)
- ➡ 主要な回遊軸
- ➡ 電車通りエリア
- ➡ 中心商店街エリア
- ➡ 重視していく動線
- 📶 賑わい・回遊の波及(イメージ)
- 📶 新たな賑わいの創出(イメージ)

● **本庁舎**
 市政の中心。防災拠点。多様な属性の人が行き交う場所。
 周辺施設を踏まえた公共空間の提供により、まちの機能を互いに補完し、相乗効果を生む形で回遊性を向上しつつ、賑わい・交流を促進する役割が求められる。

● **中央区役所**
 区政の中心。防災拠点。来庁者は区民が主。
 区政の推進、区民活動の促進の役割を担う。
 また、今後重視すべき動線に隣接し、回遊を促進させる役割も求められる。



出典：「(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン」骨子(案) まちづくりの視点と将来像に基づく「取組の方向性」